

私立 四天王寺小学校

二年 渡部 真夢

わたしの見まもりたい

わたしのお母さんは、いつもとてもうるさいです。

しんごうをまつている時、

「出来るだけ後ろでまちなさい。」

と言います。わたしは、「はいはい。」と答えます。でも本当は心の中で、うるさいなあと思っていました。

でも、この間、テレビでしようげきいぞうを見ていると、ほ道に車やバイクがとびこんで来るえいぞうを見ました。しんごうがたおれたり、人がひかれたり、とてもこわかったです。

わたしはしんごうを早くわたりたいので、一番前でまとうと思っていました。一番前は一番きけんな場しよだったのです。

と言います。

それから、一番前ではなく、自分をまもれる場しよで、しんごうをまつようになりました。

お母さんは、車にのる時も、とてもうるさいです。

「シートベルトをしつかりつけなさい。」

と言います。わたしは「もうつけているよ。」と答えます。でも、この時も、心の中で、めんどろだな、と思っ

ています。

でも、この間、友達と公園にあそびに行く道で車がおうてんしていました。わたしはじこを見たのはじめてで、こわくてシートベルトをギュツとにぎりしめました。

すぐにパトカーやきゆうきゆう車がやって来ました。中の人がどうなっているのかが分かりませんでした。あんなに大きな車がかんたんにたおれるとは、思いませ

ませんでした。

もし、じこにあった時、シートベルトをしていなかったらと思うと、とてもこわくなりました。

わたしのお母さんは、いつもいつもとてもうるさいですが、いつもわたしのことを大切に考えていることが分かりました。わたしのお母さんは、わたしの見まもりたいだったので。

わたしのためにも、お母さんのためにも、交通ルールをまもり、安全なくらしをしていきたいと思ひます。